

**貿易情報連携プラットフォーム「TradeWaltz®」**  
**2022年4月商用版リリース後、1年間で国内利用社数40社到達**  
 ～今後の日本市場利用拡大に向け、営業を加速～

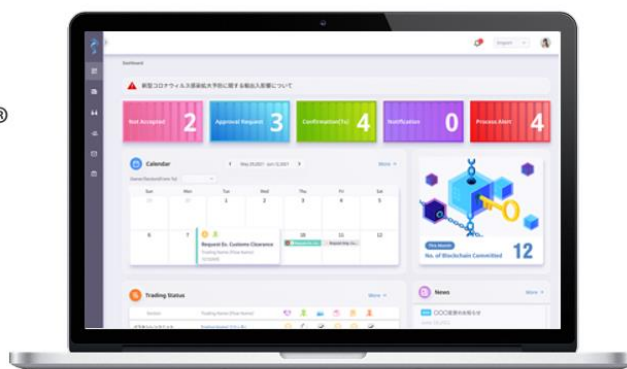
株式会社トレードワルツ

株式会社トレードワルツ（以下：トレードワルツ）は、貿易情報連携プラットフォーム「TradeWaltz®」について、商用版の利用を開始した国内企業が40社に到達したことをご報告いたします。また、認定利用者（海外企業）を含めると70社（会社マスタ登録社数）となります。

機能面としても、契約から輸出・輸入通関、決済まで、幅広くご利用いただくことが可能になりました。



利用社数 40社到達



### ■ 商社やメーカー、FWD 中心に利用企業拡大

TradeWaltz は 2022 年 4 月に、商用版をリリース。その後、約 1 年間の営業活動を通じて徐々に利用社数を拡大し、2023 年 3 月 28 日時点で、国内の商社・メーカー 11 社、金融機関 1 社、FWD・船会社 28 社、IT ベンダー 1 社、計 41 社の企業様が商用版のご利用を開始しております。また、海外の認定利用社を含めると 70 社（会社マスタ登録者数）の企業様にご利用いただいております。

弊社へのお問合せも、これまで 1,600 件ほど頂いたなかで、「どこの企業が利用しているのか確認したい」というご要望も多くありましたので、下記にて、現在の商用版ご利用企業様をご紹介します。

#### 国内利用企業一覧(五十音順)

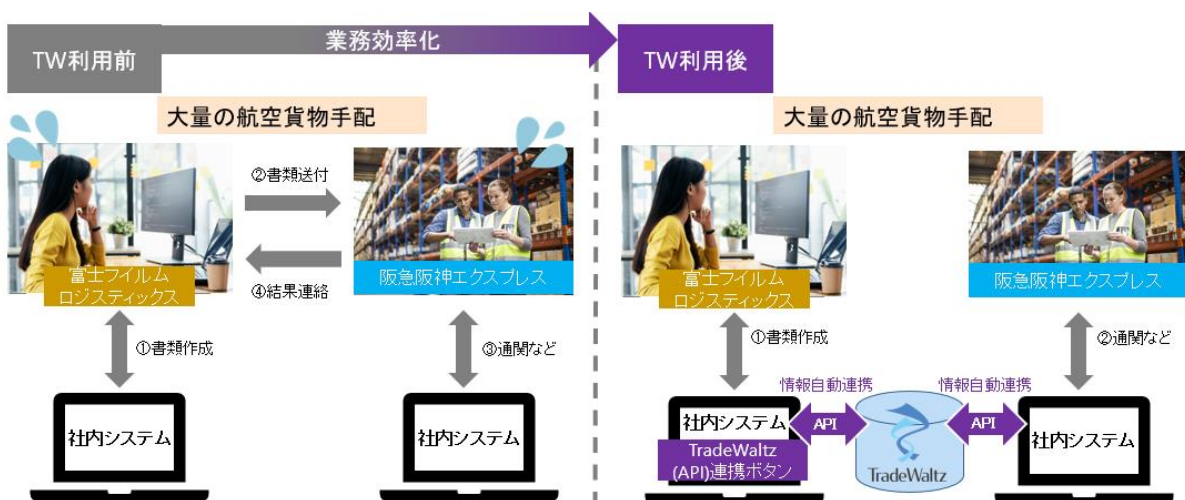
国内の商社・メーカー 11 社		
アストモスエネルギー株式会社	兼松株式会社	帝人フロンティア株式会社
豊島株式会社	豊田通商株式会社	ハイケム株式会社
富士フィルムロジスティクス株式会社	三菱商事ファッション株式会社	三菱商事プラスチック株式会社
日鉄物産株式会社	他 1 社	-
金融機関 1 社		
株式会社三菱 UFJ 銀行	-	-

物流会社・船会社 28 社		
株式会社エーアイティー	株式会社大森廻漕店	兼松ロジスティクス アンド インシュアランス株式会社
株式会社 上組	川西倉庫株式会社	関光汽船株式会社
株式会社近鉄エクスプレス	ケイラインロジスティクス株式会社	株式会社サンシン.
ジャム・インターナショナル株式会社	鈴江コーポレーション株式会社	大東港運株式会社
株式会社 辰巳商会	株式会社築港	中京海運株式会社
西日本鉄道株式会社	株式会社日新	日新運輸株式会社
日本通運株式会社	株式会社阪急阪神エクスプレス	富士倉庫株式会社
株式会社フジトランス コーポレーション	藤浪倉庫株式会社	フライングフィッシュ株式会社
三井倉庫ホールディングス株式会社	名港海運株式会社	ロジテムインターナショナル株式会社
他 1 社	-	-
IT ベンダー 1 社(非公開)		

TradeWaltz は、「ブロックチェーンで信頼性と安全性を担保した、貿易に特化した会社間のコミュニケーションプラットフォーム」であり、お互いが利用していれば、貿易情報を電子的に、簡単、低コストで連携することができます。通話アプリが個人間のコミュニケーションプラットフォームとして普及した時と同様、登録し、繋がる相手が増えていくごとに利用者のメリットが増えていき（ネットワーク効果）、一気に普及が進むタイプのサービスです。現在の活用事例について、ご紹介します。

### ■お客様活用事例と声（富士フィルムロジスティクス様、阪急阪神エクスプレス様）

富士フィルムロジスティクス様では、航空貨物の物流・通関手配を行う阪急阪神エクスプレス様との情報連携の更なる効率化・高度化を図るため、自社システムと TradeWaltz の API 連携を実施。また、阪急阪神エクスプレス様でも自社システムと TradeWaltz の API 連携を実施いただいたことで、電子情報で物流・通関手配の依頼および、結果の受け取りができるようになり、業務改革が実現しました。



富士フイルムロジスティックスの三ツ井社長からは「TradeWaltz の導入や自社のシステム改修、BPR(業務プロセス変革)により、TradeWaltz を採用した範囲では、貿易業務にかかる時間の削減効果が確認できた」というフィードバックを頂いています。また、今後 TradeWaltz の適用範囲を他の商流や金融機関との L/C 取引などに広げていくほか、同プラットフォームの使用を海上貨物の物流・通関手続きを委託する物流会社の採用要件として検討するご意向を頂いています。

こういった貿易実務者の貿易 PF 連携・活用を推進する補助施策も、経済産業省から発表されています。  
[\(https://www.tradewaltz.com/news/4114/\)](https://www.tradewaltz.com/news/4114/)

### ■ 製品版で使える機能リリース状況・予定

2022 年度開発機能で、輸出・輸入・三国間取引の基本パターンの手続き（eBL と LC 申請・買取、保険申請や事前のコンプライアンスチェック等は除く）は TradeWaltz 内で対応可能です。

カテゴリ	プロセス・機能	リリース済・予定
共通	通知・メール / 電子承認 / アーカイブ	済
契約	P/O 送付、契約締結	済
LC	LC 発行申請・買取	2024 年度予定
	LC 接受	済
輸出通関	輸出船積依頼(書類作成依頼・輸出通関依頼・荷役依頼・船積予約依頼・付保依頼) / 輸出許可書保管	済
輸送	Booking 依頼 / BL 発行依頼 / BL 保管	済
	eBL 発行	2025 年度予定
保険	IP / DN 発行依頼	2023 年度予定
	IP / DN 保管	済
決済書類	CO 申請 / CO 保管 (非特惠)	2023 年 5 月予定
	CO 申請 / CO 保管 (特定)	2023 年度予定
	決済書類作成 / 決済書類送付	済
輸入通関	輸入荷捌依頼(書類作成依頼・輸入通関依頼・荷捌依頼・船積予約依頼・付保依頼) / 輸入許可書保管	済

### ■ 2023 年度、国内導入 100 社向け営業組織を強化

今後の利用拡大に向け、ユーザーへの情報発信、導入に向けた業務分析、契約締結、API や RPA 連携などシステム連携を行うまでの工程を、組織一丸となって取り進めるよう組織改編を行いました。これにより、広報・マーケティング、営業、プリセールスを、1 つの本部に統合し、今まで以上に円滑な情報連携ができる体制に致しました。お客様がご不安なく TradeWaltz の導入検討をいただけるよう、今後も尽力してまいります。

### 【関係者のコメント】

**(商用版利用企業) 富士フイルムロジスティックス株式会社 代表取締役社長 三ツ井 忠**

「TradeWaltz の導入により、これまで紙の書類を郵送し手続きをしていた時間が大幅に削減されたほか、自社システムへの転記作業などの単純業務から解放された。当社では TradeWaltz の適用範囲を拡大していくと

もに、BPRを進めていくことで、貿易実務にかかる工数を2026年度までに約5割削減できると試算。また、リードタイムを2/3に短縮化することを目指し、荷主のキャッシュ・コンバージョン・サイクル改善に貢献していく。TradeWaltzは、リアルタイムで貿易業務の進捗状況を確認できるため、グローバルSCMを強化するための画期的なツールとなりえるだろう。今後、ブロックチェーン技術を活用した同プラットフォームの利用が進むことで、即時性・信頼性の高い国際貿易業務が実現できることを期待している。」

**(商用版利用企業) 株式会社 阪急阪神エクスプレス 代表取締役社長 谷村 和宏**

「今回のTradeWaltzプラットフォームとのAPI連携の構築に伴い、国際貿易業務に係わる構造化データをフレキシブルに業務システムに取込むことが出来るようになり、弊社側の重複入力撤廃によるコスト低減効果をお客様にも還元することが可能となりました。今後、更にインターフェースを拡充し、お客様のリードタイム短縮に寄与できるものと期待しております。」

**株式会社トレードワルツ 代表取締役社長 小島 裕久**

「2016年にNTTデータが東京海上様とブロックチェーン上で保険証券を扱う実証を行い、その後2017年8月に貿易コンソーシアムを立ち上げて、TradeWaltzの開発に着手しました。そこから約6年の歳月をかけ、いよいよ基本機能が揃い、一部業務で活用頂けるお客様が出てきて頂いたことに、感無量です。2023年度以降も、更なる機能拡充を推し進め、より多くの企業様に安心してご利用いただけるよう、尽力してまいります。」

**株式会社トレードワルツ 取締役 COO、CMO、グローバル&アライアンス事業本部長 染谷 悟**

「2月1日より営業責任者のCOOも兼務させて頂くことになった染谷です。国内外であまり類のない新しいサービスだったため時間を要しましたが、富士フィルムロジスティクス様のようなユーザー事例が出てきたことでお客様にも使い方を理解頂き始めており、政府も貿易PF支援を本格的に着手したことで、2023年度は日本が完全貿易電子化に進む元年となるはずです。これからも貿易実務者の方々ひとりひとりの業務を、家から、効率的にできるように尽力して参ります。何かあれば文末の連絡先から、お気軽にお問合せ下さい。」

**株式会社トレードワルツ 取締役 CPO 柳田 祐介**

「商用版リリース以降、様々な企業の皆様が、弊社製品のご利用を始めてくださっていることに、心より感謝申し上げます。これまで、貿易を担う企業様の生の声をいただきながら、機能実装を続けてまいりました。2023年度は今後のプラットフォーム拡大に向け、内部エンジニアを拡充し、アジャイル開発体制で、お客様の声や要望に合わせてプロダクトを磨き込むことに注力して参ります。」

**■トレードワルツについて**

商号 : 株式会社トレードワルツ

代表者 : 代表取締役社長 小島 裕久

所在地 : 〒100-6036 東京都千代田区霞が関三丁目2番5号  
霞が関ビルディング 36階 WORKSTYLING

設立 : 2020年(令和2年)4月

事業内容 : ブロックチェーンを活用した貿易情報連携プラットフォーム「TradeWaltz(注1)」の

SaaS（注2）提供

人員数 : フルタイム 54 名

URL : <https://www.tradewaltz.com>

株主一覧 : 株式会社エヌ・ティ・ティ・データ / 豊田通商株式会社 /

東京大学協創プラットフォーム開発株式会社 / 三菱商事株式会社 / 株式会社 TW Link /

東京海上日動火災保険株式会社 / 豊島株式会社 / 株式会社上組 /

株式会社フジトランス コーポレーション / 三井倉庫ホールディングス株式会社 / 株式会社日新 /

株式会社三菱 UFJ 銀行 / 丸紅株式会社 / 三菱倉庫株式会社 / 損害保険ジャパン株式会社

SDGs への取組み : 弊社サービスは主に 8,9,12,13,15,17 のテーマの取組みを推進しています。

# SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



(注1) 「TradeWaltz」は日本国内における株式会社トレードワルツの登録商標です。

その他の商品名、会社名、団体名は、各社の商標または登録商標です。

(注2) Software as a Service の略で、ユーザーがインターネット経由で必要なソフトウェア機能を利用する仕組み

## 本件に関するお問い合わせ先

株式会社トレードワルツ 広報・マーケティング部 担当 : 染谷、齋藤、中尾

Email : [info@tradewaltz.com](mailto:info@tradewaltz.com)

以上